



患者様やご家族を社会福祉の立場から支える

地域連携課



地域連携課には、5人のMSW(医療社会福祉士)が在籍しています(全員集合写真は撮れませんでした)。患者様一人ひとりに担当者を決め、入院前から退院後までの生活を支援していきます。

MSWは、主に患者様やご家族の皆様からの入院治療(リハビリ)に関する問題に対応し、解決に向けての援助をしています。内容は経済的なものから家族関係に至るものまで多岐に渡るため、社会保障や社会資源を活用し、解決できるよう関わっていきます。

当院では、各職種がチームとなり、患者様毎に合わせた計画を立てています。ご本人を交えた話し合いをしながら、ご家族への情報提供やスタッフ間での情報共有を行い、退院後の生活に向けて準備をしています。

もし何も分からない状態で、「退院です。家での介護は可能ですか。」と病院側から告げられた場合、ご家族は混乱して「それはできません。」「施設へ入所させてください。」と返答してしまうかも知れません。そのような場合、MSWは患者様の生活を理解し、受傷までの生活と退院してからのそれを繋げる役割を担います。

私たちは、ご家族にも十分に納得していただくため、各職種からの説明・リハビリ見学・介助指導・家屋訪問・院内外の他職種での話し合いなどの必要性を判断しながら調整しています。ご本人の状態を把握し、必要な情報を十分に理解することにより、退院後についての自己決定ができるよう援助いたします。

「患者様の大切な人生の岐路に立ち会っている」ということを意識して、関わるように心掛けています。